

を実施し、新たに三千億円超の国庫返納を確保いたしました。

こうした成果は評価したいんですが、公明党は行政事業レビューについて更なる改善の余地があるということで、適切なアウトカムの記載の徹底、政策評価との連携強化、基金の定義の明確化などの改善点を政府に提言としてまとめまして、三月二十七日、有村大臣に提出いたしました。

そこで、総理には、行政事業レビューの成果を改めて何うとともに、その課題及び公明党からの申入れも含めた対応について伺い、最後の質問といたします。

○内閣総理大臣（安倍晋三君） 委員の御指摘のように、安倍内閣におきましては、行政事業レビューの改善をいっつ、無駄の撲滅に取り組んでまいりました。

具体的な成果としては、今パネルに掲げていただいているように、内閣の重要施策も聖域とせず見直しを行い、約千億円の無駄削減を実現しました。また、法人向け百七十四基金全てに再点検を求めて、結果、新たに三千億円を超える国庫返納を確保しました。

行政事業レビューを更なる税金の有効活用や無駄削減につなげていくためには、委員御指摘のように、個別の事業の成果に関する具体的かつ適切な目標を設定し、それが達成されているかについて

の厳格な点検が行われることが重要であると考えています。このため、先月の行政改革推進会議において、各府省に対し、予算要求に際し定量的な成果目標の設定を徹底するよう求めるなど、自己点検の厳格化のための改善策を取りまとめたところであります。こうした取組も踏まえつつ、個々の事業を厳しく点検し、無駄を排除してまいりたいと思います。

また、御党から申入れのございました政策評価との連携強化については、これまで以上に政策評価書などのデータを事業の点検に活用することとしまして、基金の定義の明確化については、まさに基金の定義を明確化することにより、今年度から点検対象を拡大していきます。いずれも先月の行政改革推進会議において改善を図ることとしたところでございます。

○若松謙維君 以上です。終わります。ありがとうございます。

○委員長（岸宏一君） 以上で若松謙維君の質疑は終了いたしました。（拍手）

○委員長（岸宏一君） 次に、室井邦彦君の質疑を行います。室井邦彦君。

○室井邦彦君 維新の党の室井です。よろしくお願いを申し上げます。

早速でありますけれども、今回の質問に対しま

して、私は、国民生活とそしてエネルギー、この二点について政府に質問をさせていただきたいと思っております。

まず最初に、国民生活、高齢化の、厚生労働省に対する質問をいたしますけれども、今日、朝、宿舎を出る前にテレビを見ますと、このようなことが報道されておりました。高齢者の方々に診断をされて、調剤薬局がおじいちゃん、おばあちゃんたちにお薬を配合したものをお渡しすると。そうしたら、やっぱり痴呆症にかかっている方もおられたり同居老人の方もおられたり、結局、家に持ち帰って、その薬を引き出しに入れたまま飲んでおられないと。どのような算出をされたのか分かりませんが、そのような薬が計算すると約五百億円あるというふうに、どう算出されたのか私はちょっと分からないんですが、そういうことが報道されておりました。これはもう半端なことじゃないな、このように感じております。

今日はその件についてもちろん御回答は結構ですが、そういうことがあったということで、よく薬剤師さんが非常にこれに対していろいろと前向きに取り組んでいただいているようであります。是非その方も御検討、これから対応していただかないといかぬな、こう思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

早速でありますけれども、なぜこのような質問